

お取引先さま各位

## カカオ・チョコレート週刊ニュース 2号

2012/6/11 発行  
株式会社 立花商店  
生田 渉

お世話になります。前週のカカオ・チョコレート関連のニュースの中から注目ニュースを5本程度ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

### 1、ガーナ 2011-2012 シーズンの収穫量は目標を下回る 85 万トンの見通し (6/7)

ガーナ、ココアボードは、2011-2012 のカカオ豆収穫量は、乾燥した気候と、カカオ価格の下落により、当初の目標値であった 95 万トンを下回り 85 万トン程度になる見通しと発表した。

ココアボード・チーフエグゼクティブ（最高責任者）の TONY・FORIE 氏によれば、予測していた降雨がなかったことが、下方修正の要因であると説明した。

また、ココアボードは4月に判明した7万トンの在庫不足（入荷記録と、実在庫の不足分が7万トンあると判明した）を現在厳密に調査している段階であり。10-15社の集荷業者が、納品予定に対して、実際の納品数量が不足している問題で警告を受けており、5月末までにメインクロップの納品をおこなえない場合、営業停止等ペナルティーの受ける集荷業者がでる可能性もあると指摘した。

ガーナのメインクロップは5月31日で終了するが、6月8日までメインクロップの買付け希望を受け付けている。

### 2、インドネシア、スラウェシ島からの5月輸出量昨年対比53%ダウン (6/1)

インドネシアの主要なカカオ産地であるスラウェシ島からの輸出量が、昨年5月の15,099トンに対して、今年は7,114トンとなり、53%下落したことが判明した。今年4月の同島からの輸出数量は7,912トンであった。 《\*スラウェシ島・・・下記点線部分》



出典;ウィキペディアコモンズ

インドネシアはアイボリー、ガーナに次ぐ第三位のカカオ生産国で、この数年はカカオの病気や不運な天候等に収穫量の拡大を阻害されてきている。

### **3、コートジボワール、62～64万トンの2012年新物のカカオを輸出業者に販売(6/4)**

コートジボワールは5月20日までに2012-2013シーズンのカカオを既に62-64万トン販売した、と同国の経済財政省筋が6月4日に明らかにした。

同国は1月、カカオ豆の大規模改革計画の一環として、先渡しの入札制度を導入した。新物がスタートする10月までに全収穫予想量の約70%～80%が先物として売却することを目指しており、入札は8月に完了する予定。この改革は、農家出荷価格を押し上げ、生産量の拡大と生産ピークが過ぎたり放置されたりした農園への再投資を後押しするのが目的。

### **4、カメルーン・カカオ豆2012年産は過去最高の25万トンを目指へ**

カメルーンの Lazare 農業大臣はカメルーンのカカオ豆輸出税をキロ当たり20米セントとする原案を提案した。またカメルーンの2012年産カカオは害虫の問題はあるものの、過去最高の25万トンを目指していると語った。更に、国内のカカオ加工業者や新規工場投資への事業促進を促すような優遇税制法案を11月までに国会に提出したいと意欲を示した。

### **5、米 Blomer 社カカオパウダーのプレミアム価格は当面続く見通しとの見解**

米国のカカオ加工業者である Blomer 社はロイター社のインタビューに対して、新興国での良く消費されるビスケットやドリンク向けに使用されるココアパウダーの急激な需要増加によって、少なくとも今後更にもう1年は現在のココアパウダーの高い価格、低いココアバターの価格が継続されるだろうとの見解を示した。

今年は、元来、最も大きな需要国である欧州、北米市場が景気低迷により需要が停滞しているにも関わらず、BRICS からの旺盛な需要で世界全体のカカオの需要を押し上げた。9月に終わる2011-2012シーズンでは、カカオの世界需要は BRICS からの需要増が要因で2.5%成長すると予測している。しかしこの数字は、2010-2011の4.8%成長より少なく、過去34年間の年間平均成長率の3.1%よりも小さい。但し、『これは完全に欧米諸国の消費低迷によるもの』と同社の幹部は考えている。

しかしながら、例え、過去の平均より低い成長率であったとしても、世界のカカオ供給量は2011-2012シーズンにおいて5万トン不足と予測されており、ICCOによると世界全体の供給数量は7.1%減の399万トンと予測されている。

西アフリカが理想的な天候に恵まれた2010-2011シーズンが過去最高の余剰在庫34万3千トン比較すると対照的な傾向にある。

但し、この傾向は既に業界では想定されている内容であり、ICCOは不足分を4.3万トンに下方修正、大手カカオトレーダーの Armajaro 社は2.5-5万トン程度の不足になると低い数字を予測している。

《お問合せ先、配信希望、停止のご連絡先》

株式会社立花商店 東京支店 生田 TEL:03-5785-3545 Email: [w-ikuta@tachibana-grp.co.jp](mailto:w-ikuta@tachibana-grp.co.jp)